

スコラ通信

The Journal of Scuola dei Bambini Vol.007 Jan. 2025

コラム
未来への「まなざし」
MEKの日常
Scenes from Everyday Life

活動報告
みらいの学校、Scuola Cafe、ワークショップ
MEKトライアルほか

こ
の
こ
れ
が
こ
の
こ
れ
が
こ
の
こ
れ
が



未来への「まなざし」 ～小学生に無限に広がる想像力の先に～

モンテッソーリ・エレメンタリースクール北九州(MEK)がスタートして1年が経とうとしています。この1年を振り返る中で、マリア・モンテッソーリが小学生に「宇宙を与えなさい」と語った意図を改めて考える機会がありました。

文: 大瀬朝楓

宇宙を与える—「コズミック・ビジョン」とは？

「コズミック」という言葉を聞くと、惑星や星空、宇宙ステーションといった壮大なイメージを思い浮かべるかもしれません。しかし、モンテッソーリ教育が目指すのは、天文学的な学びだけではありません。6-12歳の子どもたちが持つ「どうして?」「なぜ?」という疑問に応えるため、断片的な知識を超えた「全体像」を伝えることが「コズミック・ビジョン」の核心です。



宇宙の誕生物語—子どもたちへの贈りもの

「コズミック・フェーブルの最初の物語を開校初日に子どもたちにプレゼントしてください」

6-12歳のモンテッソーリ教師トレーニングの最終試験で、試験官から伝えられた言葉を胸に、MEKの開校初日、私たちは子どもたちに「宇宙と地球の誕生物語」をプレゼントしました。6つある「コズミック・フェーブル」の最初の物語で、子どもたちが宇宙や地球の成り立ちを探究する入り口となるお話です。この物語は、「無」から始まり、光が生まれ、星や惑星、そして地球が誕生する壮大な過程を描きます。ただし、ここで伝えたいのは単なる科学的な知識ではありません。「宇宙の秩序や調和」というメッセージが込められているのです。

子どもたちはこの物語をきっかけに、実験や観察を通じて46億年の地球の歴史を学びます。そして次に「生命の誕生物語」へと進み、地球上の生命がどのよう

に進化し、つながり合っているかを探究します。こうして広がる学びの中で、子どもたちは自分の存在が宇宙全体の一部であることを実感するのです。



生命の本質

この「コズミック・ビジョン」を考える中で、私は吉野弘さんの詩「生命は」に出会いました。

“
生命は
自分自身だけでは完結できないようにつくられているらしい

花も
めしべとおしべが揃っているだけでは不充分で
虫や風が訪れてめしべとおしべを仲立ちする

生命は
その中に欠如を抱きそれを他者から満たしてもらおうのだ

世界は多分
他者の総和しかし互いに欠如を満たすなどとは知りも
せず知らされもせずばらまかれている者同士
無関心でいられる間柄
ときにうとましく思うことさえも許されている間柄そのように
世界がゆるやかに構成されているのはなぜ?

花が咲いている
すぐ近くまで虻の姿をした他者が

光をまとって飛んできている

私もあるとき誰かのための虻だったろう

あなたもあるとき

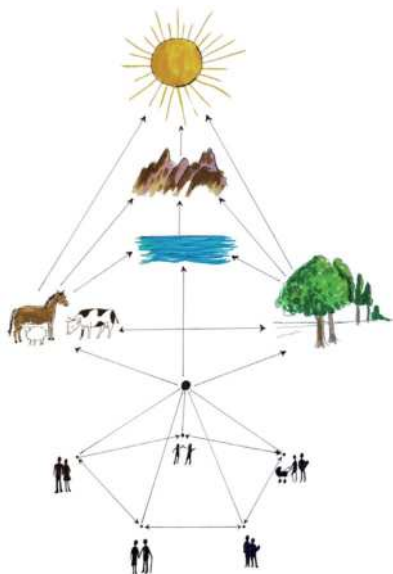
私のための風だったかもしれない

吉野弘
「生命は」

”

「生命は不十分な存在である」と語る吉野弘さんの詩は、**その不完全さが弱さではなく、他者とのつながりを生む美しさ**であることを教えてくれます。花が、虫や風の助けを借りて種を運ぶように、人もまた、他者との関わりの中で生命をつないでいます。

「欠如」や「不完全」という言葉にはネガティブな響きが伴いますが、果たして誰の力も借りずに生きていくことが本当に豊かと言えるのでしょうか。



互いの欠如を補い合い、助け合うことで生まれる関係性こそが、生命の本質なのかもしれません。自立とは、一人で生きることではなく、**頼れる存在を増やすこと**かもしれません。頼れる先が増えれば増えるほど、**安心感のある土台が育まれ、その上で自分らしく立ち上がることができるのです**。一人ひとりが世界という大きな全体を形作る小さなピースであり、そのピースをつなげていくことで壮大な調和が生まれていきます。

想像力がもたらす未来

モンテッソーリ教育の小学校過程では、「相互依存 (Interdependence)」という考え方が重要視されています。生命同士のつながりを示すチャートを用い、6歳以降に爆発的に広がる想像力を存分に発揮しながら、子どもたちに自然界の関係性を視覚的に伝えます。



「すべての生命がつながっている」という視点を得たとき、子どもたちは**自分の行動や自己選択が、他者や未来にどのような影響を与えるのかを考える力**を養います。イギリスの作家J.G.バラードが「人類の最後の資源は想像力だ」と語ったように、子どもたちがもつ想像力は、よりよい未来を創る基盤となり、未来を担う彼らが地球や社会の一員として責任をもった行動をとる力となるでしょう。

モンテッソーリ教育の「コズミック・ビジョン」が伝えたいのは、「わたし」から「わたしたち」へとまなざしを拡げていくこと。そのように拡がった先に、深い感謝と希望で溢れる未来がくることを信じています。



Scenes from Everyday

MEKの日常

2024年4月より本格始動したモンテッソーリ・エレメンタリースクール北九州(MEK)。

2学期からは新たに1名の仲間が加わり、5名の子どもたちと日々生活しています。

登校してから下校するまで、対話が途切れることがないほど、底知れない子供たちの想像力と好奇心。知識を得るだけでは気づくことのできなかった、「世界はこんなにも美しく、驚きとたくさんの未知で溢れている」という自然とのつながりと喜びを、今を生き、日々さまざまな感情を表現してくれる子どもたちから学び、分かち

合うことができています。

共に過ごす仲間が少しずつ増えていく中で、一人ひとり独立した個として活動しながら、自然や他者との関係、つながりの中で時にぶつかり合いながらも、折り合いをつけること、話し合うことの大切さに子どもたち自身が気づいていっています。

ガイド及びスタッフたちも、6-12の発達段階の子どもたちの遅しさと必要な援助について、日々学びと反省を繰り返しながら、エレメンタリーの子どもたちの成長と共に過ごしています。

MEKでの活動

Lesson

モンテッソーリの小学校の一番の特徴はなんといっても子どもの興味関心が学習のスタートであること。教科の枠組みや時間割に捉われず、教科横断的に子どもの興味関心に応じて探究していきます。午前と午後のワークタイムの中で、一人ひとりの興味関心や学びの特徴を尊重しながら日々レッスンをしています。



Bigwork

学びの特徴の一つであるビッグワーク。レッスンで学んだことや個々人の興味関心を原点に個人やグループで探究していきます。オリジナルの図鑑を作成したり、ポスターやタイムラインを作ったり、模型を作ったりと自らの学びをさまざまな形でアウトプットしています。

Going out(月1回程度)

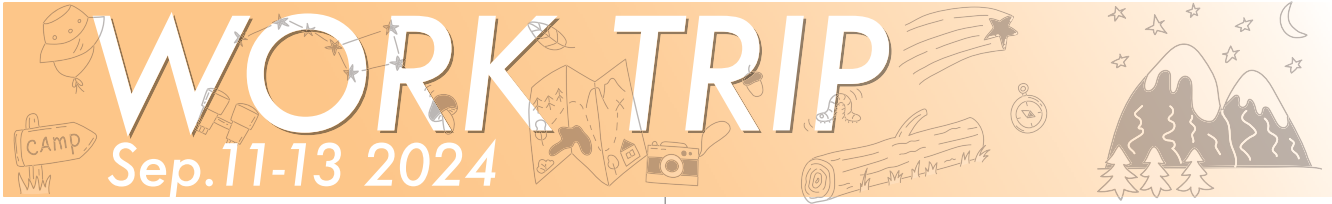
6歳以降児童期になると、教室内の学びや体験だけでは物足りなくなり、「家やクラスの外で」の五感で感覚的に学ぶ体験が必要になってきます。それは、新たな自立や人格形成へとつながっていく第一歩にもなります。そのため、一般的にイメージされるような社会科見学に止まらず、モラルや社会規範、仲間意識、そしてあらゆる世界とのつながりに探究心を抱きながら、教室を飛び出してリアルな世界と対峙していきます。

今年度は、レッスンで得た学びの種から芽を生やすべく、博物館や自然散策、さらには社会で働くさまざまな専門的な方にお会いするために会社訪問・工場見学をさせていただきました。



WORK TRIP

Sep.11-13 2024



2学期の始めに、「大地と共に”生きる”を体験する」をテーマとした2泊3日のワークトリップを開催しました。6-12歳の特徴であるコズミック・エデュケーションの考えを教室内で完結しないように、実際に目で見て自分の五感を使って感じるためにGoing Outの一環として地球・大地を探究し、キャンプを通して「自然」、「ひと」、「自分」と共に生きる力を育成することを目的として、福智町

にある7世代キャンプで3日間を過ごしました。

人類が生きていく上で重要なものが何か、講師である7世代キャンプの日高 将博さんに教えていただきながら、シェルターづくりや火おこし、自然散策や食事づくりを行いました。

9月の暑い時期、普段の家の生活とは異なり、快適さではなく、自分たちで作り出すことが求められること、コンフォートゾーンを抜け出すことが求められる瞬間が多い中、時間を積み重ねるごとに、自分自身の殻を打ち破り、仲間と協働しながら新たなことに挑戦し続ける子どもたちの姿が見られました。



2024年8月1日、2日、3日 みらいの学校Vol.7子ども国際マーケット

8月1日、2日、3日の3日間で、北九州市の幼稚園、小中学生を対象として「国際交流×職業体験」のチャリティイベント、子ども国際チャリティーマーケットを開催しました。2回目となる国際マーケット、今年は、花農丘公園・北九州市立総合農事センターとの共催で開催することができました。

最初の2日間は、チームビルディングや、インターナショナルスタッフの出身国の文化紹介、チャリティイベントの目的のシェアをしました。北九州市各地から集まった総勢37名の子どもたちは、多文化共生社会の中でそれぞれが自分らしく、楽しく、フラットに活動をしている様子が見受けられました。



集まった寄付金20,381円はウガンダの小学校へ寄付させて頂きました。

ご参加下さいました皆さま、イベント景品作成から出店まで多大なる応援・ご協力くださいました出店者さま、協賛くださいました大英産業株式会社さま、ウォータースタンド株式会社さま、チームビルディングをしてくださった株式会社ONEさま、そしてイベントと一緒に盛り上げ、サポートしてくださいましたFootlooseさま及びスタッフの皆さま、子どもたちの新たな気づきの体験にご協力いただきましてありがとうございました！

2024年9月28日 みらいの学校Vol.8小倉南区こどもまつり

小倉南区役所さまが主催するイベントに今年もお声がけいただき、みらいの学校Vol.8として、フリースクール「やた」さんとコラボで「スライムづくり体験」ブースを出展しました。事前のお集まりの際には、スライムができる仕組みや「世界にひとつのオリジナルスライム」をテーマに、さまざまなスライムの種類のアイデアを考えました。子どもたちが主体となり、参加者につくり方を伝授したり、初めて作る子のサポートをする様子が見られ、常に待っている人の行列ができる中、想定時間よりも早く予定個数以上を販売しました。



Summer School MEKトライアル

モンテッソーリ・エレメンタリースクール北九州が本格開校して初めてのSummer Schoolを開催しました。全3日間のサマースクールを三日程、総勢20名のお子さんが参加してくれました。

〈A日程〉テーマは、「宇宙と地球の歴史」

モンテッソーリのエレメンタリーに欠かせない、コズミックエデュケーション。その入り口でもあるCosmic Fable (グレートレッスン)の最初の物語である「宇宙と地球の誕生物語」から学びの扉を開け、私たちが今生きている地球はどのように誕生したのか、なぜ地球上で生命が生きることができるのか、その秘密を探求していききました。

〈B日程〉テーマは、「人類の歴史」

我々、人間に焦点を当てながら、人類が他の生命との共通点や異なる点、特別な部分を考えていきました。特に私たちの日常では当たり前に使われている「言葉」や「時間」がどのように誕生し、人々の生活に浸透していったのか、教科横断的な学びを通じて探究していききました。

〈C日程〉テーマは、「生命の歴史」

Cosmic Fableの2つ目の物語である「生命誕生の物語」からスタートし、タイムラインを広げながら、地球上に初めて生物が誕生してから、人類が誕生するまでの歴史を子どもたちと一緒にたどっていききました。3日目はGoing out! 生命の歴史をさらに探究すべく、北九州市の「いのちのたび博物館」を訪れ、MEKのクラスでは見ることができない数多くの生命の化石や剥製から学びを深めていききました。

この3日間で、子どもたちの新たな興味関心を広げるきっかけになっていたら幸いです。



スコーラカフェ Scuola Cafe

これまでオンラインを中心に開催していたスコーラカフェの形を変え、今年度は対面形式で年4回開催することといたしました。

モンテッソーリの小学校過程の学びを入口として、知識を詰め込むだけではない学びのあり方、子どもの興味関心から始まる探究、子どもの特性に合わせた個別最適な学びについて参加者の皆さんと一緒に意見交換をしながら開催しています。



モンテッソーリ6-12歳レベル 実践型ワークショップ

8月16日～20日の5日間、モンテッソーリ・エレメンタリースクール北九州にて、理事長 大谷育美による「モンテッソーリ6-12歳レベル実践型ワークショップ」を開催しました。北九州市だけでなく福岡市や下関市、遠いところは佐賀県から、7名の参加者さんが通ってくださいました。モンテッソーリの教師をされている方はもちろん、モンテッソーリの資格はなくても保育園を運営されている方、幼児教育に興味のあるママさんなど、さまざまな方がご参加くださいました。

6-12歳向けのモンテッソーリ教育について現在の日本では学べる環境が少ないため、0-6歳のモンテッソーリ教育からつながる小学校課程の学びに、子どもになった気持ちで小学生の世界を旅しました。



2024年11月30日 みらいの学校Vol.9 こどものマーケットin勝山公園

勝山公園で開催された「こどものマーケット」に、バスボムのお店のこども店長として10人の子どもたちが参加してくれました。

事前集まりで、バスボムの作り方を習得していた子どもたちは、お客さんから「なにでできてるの?」と聞かれたら「重曹と、クエン酸と、片栗粉です!」とすぐに答えたり、固まるのにちょうど良い状態を保つのに長時間集中してケアしたり、お金の授受をする人、バスボムの種のケアをする人、小分けにしてお客さんに提供する人、と皆がそれぞれ自分で役割を見つけて従事していました。



九州職業能力開発大学校(九州ポリテクカレッジ)さま との共同制作

昨年に引き続き、九州職業能力開発大学校の建築科さまと共同制作をさせていただくことになりました。今年はモンテッソーリ教具がピッタリ納まる、世界に一つの地図の棚と、ビーズキャビネットを製作頂くことになりました。

使用する木材は、大英産業株式会社さまから未使用材をご提供いただきました。緻密な計測や、北九州ならではの「小倉組子」というデザインなど創意工夫と想いが詰まった作品になっています。複数回の打ち合わせや材料見学、試作を経て、現在は本制作を行っています。完成を子どもたちとともに楽しみにしています!



日本の教育の未来にあなたの力を貸してください NPO法人Scuola dei Bambiniの 賛助会員を募集しています!

私たちと一緒に活動して下さる方、私たちの活動を応援して下さる方、賛助会員さんになりませんか?年会費3000円で賛助会員になっていただいた方には、年2回の会報誌の送付や、メールにてイベントや活動のお誘いをさせていただきます。

NPO法人Scuola dei Bambiniの身近な存在として、ご支援いただける方のご参加をお待ちしております!



賛助会員のご登録は
こちらから



ドネーション等は
こちらから

Scuola dei Bambini

NPO法人 Scuola dei Bambini
北九州市小倉北区吉野町12-19
会報誌Vol.007
2025年1月15日発行



税理士法人 ティーエーパートナーズ



大英産業株式会社

新築マンション分譲 / 新築戸建分譲
土地分譲 / 不動産仲介・管理・買取再販
不動産コンサルタント(相続・投資)
リフォーム / 街づくり / 宿泊



Corporate site

相続問題や空き家問題等
不動産全般のお困り事は
お気軽にご相談ください



Q_AND_ESTATE



Q&エステート株式会社

〒802-0026
北九州市小倉北区大倉3丁目11-18
TEL 093-533-9102 FAX 093-533-9103
<https://www.qandestate.co.jp>

不動産売買
賃貸仲介管理
改装工事

TEL 093-533-9102

(公社)全国宅地建物取引業保証協会 福岡県知事許可(1) 第19667号



イングリッシュプラス



公式LINE



Instagram

大隈社会保険労務士事務所

代表 大隈 一裕

〒810-0064 福岡市中央区地行4丁目1-9
TEL 090-1876-0155
E-MAIL okuma-office@leo.bbq.jp
HP <http://www.okumaoffice.com/>



アクティブジャパン

代表 末広 要



山之内歯科医院

院長 山之内達哉



わかまつクリニック

内科 院長 若松 信一
北九州市小倉北区浅野2丁目14-1
KMMビル2階(小倉駅北口すぐ)
電話093-512-8760



創生塾

新しい生き方を創る



企業主導型保育園

0歳からのモンテッソーリスクール
RIVERWALKこどもの家
北九州市小倉北区室町1-1-1
リバーウォーク北九州2階



企業主導型保育園

2〜6歳のバイリンガルモンテッソーリスクール
カーサ・デ・バンビーニ
北九州市小倉北区吉野町12-19

